

2023年8月16日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

プラチナ併用化学療法を施行した進展型小細胞肺癌における腫瘍マーカーの治療効果および予後予測マーカーとしての有用性の検討

2. 研究責任者

海南病院 呼吸器内科 中尾心人

3. 研究の概要

肺癌診療において採血検査で測定できるシフラ、CEA、NSE、ProGR といった腫瘍マーカーは、診断時において日常的に測定されることが多い腫瘍マーカーです。中でも血清シフラの値は非小細胞肺癌における治療効果および予後予測マーカーになることが報告されています。しかし、小細胞肺癌における血清シフラ値の治療効果および予後予測因子としての有用性について報告した論文は少なく、小細胞肺癌患者の治療効果や予後と血清シフラ値の関連性については十分な検討がされていないのが現状です。

そこで、当院で診断および治療を受けられた進展型小細胞肺癌患者さんの予後や1次治療の効果が、初回治療前の血清シフラ、CEA、NSE、ProGRPの値と関連性があるか検討することを主目的とした、後方視的な臨床研究を行うことにしました。具体的に対象となるのは、2009年2月から2019年3月に小細胞肺癌と臨床診断され、プラチナ併用化学療法（免疫チェックポイント阻害薬併用例を除く）を行った方です。血清のシフラ、CEA、NSE、ProGRPの値は、実臨床において肺癌診療開始時ににおいて日常的に施行される採血で既に測定されており、また後方視的に対象となった方の背景や治療開始前後の臨床的特徴を把握することは、研究対象者への不利益及び危険性も無く、今後の肺癌臨床を行う際に有用な情報が得られるものと期待されます。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2009年2月から2019年3月に小細胞肺癌と診断されプラチナ併用化学療法（免疫チェッ

クポイント阻害薬併用例を除く) を行った患者さん。

② 使用する試料等

残余検体：使用しない。

カルテ情報：使用する。

カルテ情報から、治療開始時の患者背景や検査データ、および治療後の経過などを後方視的に抽出します。尚、データ収集は西暦 2022 年 6 月 30 日時点でのデータを基準とします。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 呼吸器内科 中尾心人

電話：0567-65-2511 (代表)